



各 位

平成 24 年 5 月 15 日

会社名 株式会社 アルメディア
代表者 代表取締役社長 飯 沼 芳 夫
(コード番号 7859 東証第二部)
問合せ先 取締役企画部長 井 野 博 之
電話番号 042-397-1780 (代 表)

経営再建計画（ALM2012）の実施について

当社は、平成 24 年 3 月期（第 32 期）の業績で創業以来最大の欠損を生ずる事態となり、株主及び関係者の皆様に多大なご迷惑・ご心配をおかけすることをお詫び申し上げます。

当社としては、一刻も早くこの事態を乗り切り会社を再建するために、緊急施策及び再成長施策を盛り込んだ経営再建計画（ALM2012）を実施することとなりましたのでご報告致します。

今後は、本計画を強力に推進し、会社を再成長軌道に戻して参りたいと存じます。

I. 当社グループを取り巻く状況

当社の主要顧客先である電器及び自動車産業は、東日本大震災、さらにタイ洪水被害の影響により、電力供給やサプライチェーンが制約され、企業の生産活動は一時大きく停滞しました。

また、円高の長期化により輸出企業の業績が低迷する一方で、欧州債務問題による世界経済の混乱も加わり、震災の復興需要の動きはあるものの、景気回復の兆しは弱く、さらに、今後は中国をはじめ新興国の成長も鈍化する様相で、先行きは非常に厳しい状況です。

このような状況下で、日本の基幹産業である電器と自動車産業の収益構造が急速に悪化し、テストメディアを事業基盤とする当社の業績も低迷し、創業以来最大の欠損を生じる事態となりました。

当社ディスク事業に関しては、国内の地デジ特需の終了により需要が減速する中、記録メディアの多様化、ネット配信が進む一方で、光ディスク産業の成熟化が進んでいます。

また、デジタル家電分野では、価格競争が激化した結果、日本メーカーは劣勢に立たされ、韓国、台湾、中国等の新興国メーカーが台頭してきています。

こうした状況下で、当社は業容の多角化をはかり、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司の事業規模拡大を進めていますが、残念ながらディスク事業業績低迷分を補うまでには到っておりません。

Ⅱ．経営再計画の内容

1．計画の方向性

基本指針：『ディスク事業による黒字化復帰とその収益を源とした業容の多角化を実現する』

第34期黒字化必達に向け、収益重視の運営体制（組織）に会社を再編成する。

中長期的に縮小を見込むディスク事業に見合う体制に再編成する。

ディスク事業が生み出した収益を源に業容の多様化をはかる。

長期的には、多様化した事業から安定した収益を生み出す。

2．目標

連結営業利益	第34期（平成26年3月期）	1億95百万円
	第35期（平成27年3月期）	3億62百万円

なお、第33期（平成25年3月期）は、希望退職者募集による特別加算金費用等の計上により、別途開示いたしました「決算短信」連結業績予想のとおり、赤字見通しであります。

3．方策

（1） ディスク事業の売上を再拡大する。
需要を掘り起こし、売上を拡大する。

（2） 会社組織を最適化し、固定経費を圧縮する。
会社組織を最適化し、固定経費を圧縮する。

（3） 第33期赤字ミニマム化、第34期黒字化に向けて対応策を実施する。

① 役員報酬の減額

平成24年7月より1年間 役員月例報酬を減額する。

社長50%、取締役25%

平成24年7月より1年間 監査役月例報酬を15%自主返納する。

② 管理職給与の減額

平成24年7月より1年間 管理職給与を10%減額する。

③ 従業員賞与の抑制

第33期 従業員賞与を大幅に抑制する。

④ 希望退職者の募集

平成24年4月27日公表のとおり、希望退職者の募集を実施する。

希望退職者が募集人数に達した場合、特別加算金等の費用は、約1億円を見込んでおります。

⑤ 経費の大幅カット

(4) 業容の多角化を推進する。

① 新規事業を立ち上げる。

炭素材 パイロットプラント稼働とマーケティング実施により早期事業化をはかる。

無機材料 阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司製品の日本市場拡販をはかる。

専門商社機能を構築し、販売活動を展開する。(LED等)

アーカイブ ディスク事業周辺ビジネスとして早期の事業展開をはかる。

M&A アライアンス等による業容の多様化を検討する。

新規事業の展開を加速するため、平成 24 年 1 月 16 日付けで新組織体を発足させています。

② 阿爾賽(蘇州)無機材料有限公司の売上を拡大する。

以上